

# 令和 5 年度仙台市図書館事業報告書(案)

～仙台市図書館振興計画 2022 に基づく事業の実施状況～

令和 6 年 8 月

教育局市民図書館

## 目 次

## 方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1)生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます…… 1  
 【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】  
 【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】  
 【各種イベントのオンライン開催など非来館型サービスの研究】
- (2)課題解決に取り組む市民の学びをサポートします…… 3  
 【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】  
 【レファレンスサービスの充実・周知】  
 【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】
- (3)地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します…… 4  
 【地域情報の蓄積・継承・発信】  
 【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】  
 【東日本大震災の記録と教訓の伝承】
- (4)多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します…… 5  
 【大学等教育機関との連携】  
 【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】

## 方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します…… 7  
 【妊娠期の親への読書支援の推進】  
 【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり】  
 【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】
- (2)障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します…… 8  
 【障害のある子どもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】  
 【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】
- (3)ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します…… 9  
 【中高生の主体的な読書活動のサポート】  
 【SNS等を活用した広報の推進】  
 【YAコーナー、YA向けコンテンツの充実】

- (4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します…………… 10  
 【オンラインを活用した学校連携】  
 【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】

- (5) 家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます…………… 11  
 【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】  
 【子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】  
 【子どもの心を育み、居場所となる取組】

**方向性 3** 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます…… 14  
 【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】  
 【移動図書館の安定的なサービス】  
 【電子図書館などオンラインサービスの推進】

- (2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します…………… 15  
 【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】  
 【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】  
 【国際化社会に対応したサービスの充実】

- (3) ICT 環境の進展など社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します…………… 16  
 【電子媒体を活用した発信の強化／利用者の IT リテラシーに合わせたサポートの強化】

**方向性 4** 自らの変革を進める図書館となるために

- (1) 市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します…………… 17  
 【計画的な資料の収集・保存・活用】  
 【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】

- (2) めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます…………… 17  
 【市民協働事業や広報の促進】  
 【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】

- (3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します…………… 18  
 【安定的なサービス提供のための課題解決】  
 【来館型・非来館型サービスの適正な運用】  
 【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

(4) 図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います…………… 19

【数値的成果指標の図書館サービス向上への活用】

【市民による評価や意見の活用】

(5) 図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます…………… 19

【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】

方向性ごとの今後の課題…………… 21

-----  
凡例

**新** ……全館で実施した新規事業

**拡** ……全館で実施した拡充事業

**重** ……全館で実施した重点事業

**新規** ……各館で実施した新規事業

**拡充** ……各館で実施した拡充事業

## 方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

### 施策(1) 生涯学習を支援する基盤施設としての図書館サービスの充実に取り組みます

#### 【生涯にわたり誰もが主体的に自分らしく学べる機会の充実】

人生 100 年時代を踏まえ、あらゆる世代の学びを日常的に支える資料を収集・提供するとともに、様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料案内や各種ブックリスト等の発行、展示等を実施した。また、新しく市民となった方にも図書館を利用してもらえるよう、各区役所・総合支所と連携し、市外からの転入者へ図書館利用案内を配布した。

#### ○資料の収集・提供

(速報値)

	令和4年度	令和5年度
資料受入数(冊・点)	59,600	58,006
所蔵数(冊・点)	2,077,726	2,074,955
個人利用者数(人)	1,469,335	1,484,100
個人貸出数(冊・点)	4,431,095	4,315,097

※所蔵数は雑誌・新聞を除く、各年度末時点の数。

※所蔵数・個人貸出数は電子書籍を含む。

#### ○資料案内・ブックリスト等の発行

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「推し本！」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉) 「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに…—」(泉)
児童向け図書案内	「うちどくにおすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 「35年以上読み継がれた絵本」(拡) 他 各館でテーマ別図書案内等を発行
中高生向け図書案内	『「いじめ・命」に向き合う本のリスト」(全館) 「10代のためのこころのサブリ」(全館) 「秘密の文園」(広瀬) 「言葉の花束 秘密の文園より」(広瀬) 「YAnews」(広瀬) 「学習応援本」(宮城野) 「Young Woods」(若林) 「すばろーずペーパー」(泉) 「BOOK LIST 2023」(泉)
新着視聴覚資料案内	「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「YA 瓦版」(全館) 「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「若林図書館上映会通信」(若林) 「てとてといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	「仙台市職員研修のための図書案内」(市民) 「外国語資料あんない」(在住外国人向け)(市民) <b>新規</b> 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(榴岡・泉) 「大活字本所蔵リスト」(泉)

#### ○テーマ別展示・企画展示等の実施

主な内容	実施館
毎月のテーマ展示のほか、季節や時事に関連した資料の展示コーナーを設置	全館
「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置	全館
春と秋の子ども読書フェスティバル期間中におけるテーマ展示	全館
職員が各々にテーマを設定して実施する資料展示「広瀬図書館スタッフの MY 本棚」	広瀬
映画上映作品に合わせた映画館プログラム、スチル写真、シナリオ、ファン雑誌等の関連展示	若林

【人と人をつなぐ居場所、活力を生み出す場づくり】

市民が知的活動に集中できる「書齋」としての機能を持たせつつ、資料と人、人と人が交流できる「広場」の形成をめざし、各館で様々なイベントを開催した。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の福袋	年代別、テーマ別等に図書館員が選んだ資料を福袋(パッケージ)にして貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
おみくじ BOOK、覆面展示 <b>新規</b> 、 歳末わくわく本 <b>新規</b>	図書館員が選んだ本をタイトル・著者名がわからない状態にして展示し、予期せぬ本との出会いを楽しむイベント	市民・若林・太白
大人が楽しむおはなし会	絵本の読み聞かせや素話を通して、参加者同士の交流を促すイベント	市民・泉
ライブラリアフターアワーズ 「光のページェント音楽会」	閉館後の図書館を活用したクラシックギターアンサンブルによる演奏会	市民
5歳児むし歯予防絵画展 (会場提供)	健康福祉局健康政策課が主催する事業に協力し、入賞作品 60点を図書館内の壁面に展示	市民
広瀬図書館長講演会「日本文学全集(架空の50巻)の歌謡学」	広瀬図書館長が日本文学全集を編纂したとの架空の設定に基づく講演会	広瀬
広瀬図書館長講演会スピノフ展示「日本文学全集の歌謡学 レコードジャケット展」	広瀬図書館長講演会「日本文学全集(架空の50巻)の歌謡学」で取り上げた歌謡曲のレコードジャケット及び原作、映画ポスター等を展示する企画展	広瀬
製本ワークショップ	手製本の手法でオリジナル手帳を作成する講座	広瀬
ひろせワクワクシアター	アニメ映画「SING/シング:ネクストステージ」の上映 (共催:広瀬文化センター)	広瀬
DVD 上映会、映画上映会	子どもから大人まで幅広い世代向けの上映会	宮城野・若林・太白・泉
榴岡図書館開館40周年記念「スギヤマカナヨさんトークイベント」「スタンプラリー」 <b>新規</b>	絵本作家スギヤマカナヨさんによる「絵本×子育て」をテーマにしたトークイベント、市内の図書館や仙台駅東口エリアの協力施設と連携したスタンプラリー	榴岡
若林図書館開館30周年記念イベント「本にまつわる講演会+ワークショップ」 <b>拡充</b>	女川町出身の絵本作家・ペインターを招いた講演会「たくさんの色に込めた想い」、ワークショップ「せかいにひとつだけの本の表紙をつくろう」	若林
本の世界に入ってみよう	合成撮影技術を用いて本の世界に入る参加型イベント	若林
ほんのトーク	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽にしゃべりするトークイベント	太白

【各種イベントのオンライン開催等非来館型サービスの研究】

災害や感染症の流行等非常時を見据えた図書館サービスのあり方として、読み聞かせのオンライン開催や、電子図書館のコンテンツの充実、電子雑誌閲覧サービスの継続実施等、非来館型サービスを推進した。

○主な実績

- ・電子図書館総資料数(コンテンツ数) 4,008点 (令和4年度末 4,358点)
- ・おうちで楽しむオンラインおはなし会 年3回開催 (若林)

**施策(2) 課題解決に取り組む市民の学びをサポートします**

**【SDGsの17のゴールを意識した事業の推進】**

持続可能な社会づくりに向け、SDGs に対する理解の普及をめざし、関連資料の展示や SDGs に関連した事業を実施した。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
SENDAI SDGs Week 2023 ～未来のために一歩前へ～	SDGsWeekの期間に合わせた関連資料を展示	全館
	SENDAI SDGs Week 2023 のイベントロゴマーク入りしおりを配布	市民・泉
	ぶらんど～む一番町にブース出展し、「くまのがっこう」シリーズがラッピングされた移動図書館車「わかさ号」による SDGs 関連図書の展示、イベントロゴマーク入りしおりの配布等	市民・移動
企画展示「What's the SDGs? SDGs って何だろう？」	GOAL5・GOAL15 を取り上げ、取り上げた 2 つのゴールの該当書棚に共通デザインによるサインを表示	広瀬
企画展示「紙リサイクル」「フードドライブしてみませんか？」	SDGsの17の目標にあわせて、企画展示を実施	榴岡
映画上映会×SDGs	SDGs への理解を深める映画作品の上映会	若林

**【レファレンスサービスの充実・周知】**

社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」による資料提供を全館で行った。また、レファレンス事例集「本の道案内」やパスファインダー（調べ方ガイド）の館内配置とホームページへの掲載により、レファレンスサービスの充実に努めた。

○主な実績

- ・レファレンス件数 40,018 件（令和4年度 40,239 件）
- ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」利用件数 78 件（令和4年度 109 件）

○各館の主な事業

事業内容	実施館
国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例の登録を継続して実施	全館
レファレンス事例集「本の道案内 vol.8」を発行し、館内配置及びホームページに掲載	全館
パスファインダー（No.1～53）の館内配置及びホームページへの掲載を継続して実施	全館
『図書館にまいこんだこどもの超大質問』（青春出版社、2024 年 4 月）にレファレンス事例を提供	市民
各種データベースや電子図書館の利用方法をレクチャーする「図書館活用ガイドンス」を実施 <b>新規</b>	広瀬

**【関係機関等との連携による市民の課題解決の推進】**

地域の特性を踏まえ、関係機関や各種団体と連携し、講座やセミナーの開催、図書館資料・リーフレット等の展示や啓発ポスターの掲示等を実施した。

○各館の主な事業

事業内容	連携先	実施館
G7 仙台科学技術大臣会合の関連資料を展示	文化観光局誘客戦略推進課	全館
第 40 回全国都市緑化仙台フェアの関連資料を展示	建設局百年の杜推進課	全館
テーマに基づいて、啓発物や図書館資料を展示 「歯と口の健康」・「食育」・「性について考えよう」・「フレイル予防」・「自殺対策」等	各区保健福祉センター管理課・家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課	市民・広瀬・宮城野・太白・泉

事業内容	連携先	実施館
秋・春の火災予防運動関連展示「読書で身につけよう防火防災力」 <b>新規</b>	宮城野消防署	宮城野
震災関連パネル展示「あの日を忘れない」 <b>新規</b>	宮城野消防署	宮城野
ハローワーク仙台の取り組みを紹介するパネル展示 <b>新規</b>	ハローワーク仙台	榴岡
仙台 89ers からの寄贈絵本の展示、チームの黄援コーナーを設置	仙台 89ers	太白
法律講座「知って安心はじめての成年後見」	法テラス宮城	泉
起業・創業ライブラリーセミナー&ワークショップ「あなたの創業を一步進める」	日本政策金融公庫仙台支店	泉
ビジネス支援関連の図書や起業者の事例パネル等を展示	日本政策金融公庫仙台支店	泉
WEリーグのチーム(マイナビ仙台レディースと大宮アルディージャVENTUS)のグッズ、観光ガイド、リーフレット等の展示 <b>新規</b>	さいたま市大宮図書館	泉
名古屋市図書館100周年記念事業「Book Mobile サミット」で移動図書館のパネル展示 <b>新規</b>	名古屋市図書館	移動

**施策(3) 地域の歴史や魅力を継承・発信し、未来の地域づくりに貢献します**

**【地域情報の蓄積・継承・発信】**

市民の協力を得て地域資料の収集・提供に継続して努めたほか、地域情報に関するイベントを開催した。また、せんだい電子図書館では、仙台の郷土資料を収集し、トップページに専用バナーを設ける等、地域の特性を踏まえた運営に取り組んだ。

○主な実績

- ・郷土資料受入数 1,787 冊 (令和 4 年度 1,789 冊)
- ※うち寄贈による受入数 1,311 冊 (令和 4 年度 1,230 冊)
- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 156 点・115 点 (令和 4 年度末 143 点・112 点)
- 行政資料 34 点 **拡充**

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
ひろせアーカイブ	地域にまつわる記憶や思い出を詩やエッセイ等の形式で募集する「思い出アーカイブ」、地域性のある写真を集めた「ジモト写真館」等、地域の情報や記憶を収集・保存・共有・継承するデジタルアーカイブ事業	広瀬
東口界限まち歩き「まち歩きで学ぶ文学者・俳句の世界」	ガイドボランティアと協働で、仙台駅東口のお寺や歌碑を巡る「まち歩き」を実施	榴岡
仙台七夕関連事業	パネル展「写真・絵はがき・ポスターから見る仙台七夕まつり」	若林

**【市民や地元事業者等との連携による地域の歴史・魅力の発掘・発信】**重****

地域情報を有する専門機関等と連携し、地域の魅力を再発見できるようなイベントを開催したほか、継続して地域ゆかりの作家に関する資料の収集に努めた。

○各館の主な事業

事業内容	連携先	実施館
仙台・アカプルコ姉妹都市提携 50 周年を記念した関連書籍やパネル等の展示	文化観光局交流企画課	市民
仙台の編集者 3 人が、仙台ゆかりの作家の作品の中からおすすめ本を紹介する講座「オヤジ編集者ブックトーク 郷土の作家おすすめ本」	荒蝦夷、プレスアート、東北大学出版会	市民

事業内容	連携先	実施館
歴史民俗資料館企画展の展示解説と講話「どうして8月？仙台七夕まつり」「社交と嗜好品」、関連図書の展示	仙台市歴史民俗資料館	榴岡
伊達綱村の歴史書編纂事業についての講話「歴史をめぐり自分と出会う一家の歴史の作り方、綱村の場合」、関連図書の展示	仙台市博物館	榴岡
農業連携事業・地域講座 「秋・冬野菜づくり実践編 楽しくおいしい野菜の育て方」	せんだい農業園芸センター みどりの杜	若林
絵葉書等の郷土資料をもとに近代の仙台市の観光振興策について紹介「仙台市博物館×太白図書館連携講座杜の都をPRせよ！～観光作戦と政宗騎馬像～」	仙台市博物館	太白

### 【東日本大震災の記録と教訓の伝承】

東日本大震災の関連資料や情報を継続的に収集し、震災を語り継ぐため市民図書館に設けた「3.11 震災文庫」及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。また、仙台市政だよりで震災文庫の資料を紹介する「3.11 震災文庫を読む」の連載や、せんだい3.11メモリアル交流館での資料の展示等を継続して行った。

#### ○主な実績

- ・3.11 震災文庫資料収集(所蔵)数 14,563点 (令和4年度末 14,221点)

#### ○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
3.11 震災文庫を読む	仙台市政だより「3.11 震災文庫を読む」掲載(計8回)、仙台市ホームページ、X(旧Twitter)による発信	市民
仙台防災未来フォーラム2024 出展	「記録の回廊～図書館にねむる地震の記憶をよびおこす」をテーマに平安時代(貞観地震)から現代までの震災関係資料の展示、せんだい電子図書館の体験	市民
パネル展示「あの日を忘れない」 <b>新規</b> (再掲)	東日本大震災に関する写真パネルの展示	宮城野
震災関連事業	「『これまで』と『これから』をつなぐ想い せんだい 3.11 メモリアル交流館から学ぶこと」をテーマにした講演会と関連資料の展示	若林
震災関連資料展示	「東日本大震災の教訓を忘れない」をテーマにした資料展示及び児童書コーナーで「防災のほん」と「防災グッズ」の展示	泉

## 施策(4) 多様な機関と連携し、「学都仙台」の活力を向上します

### 【大学等教育機関との連携】

宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施するとともに、利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況の確認や紹介状の発行を行った。また、インターンシップ受入による人材育成や、市内大学等にて出前講座等を行った。

#### ○各館の主な事業

事業内容	実施館
インターンシップ受入(東北福祉大学・仙台高等専門学校)	市民・宮城野・若林・泉
施設見学(桜の聖母短期大学・聖和学園短期大学・東北学院大学)	市民・榴岡・太白
授業等への講師派遣 (宮城学院女子大学・仙台青葉学院短期大学・仙台白百合女子大学・東北文化学園大学)	市民・榴岡・泉
仙台高等専門学校との連携により小学生を対象とした科学工作会を開催	広瀬
仙台高等専門学校の「高専祭」の「古本市」に、広報や不要本回収で協力	広瀬

**【社会教育機関等との連携による市民の多様な学びの支援】**

市民の多様な学びをサポートするため、市民センター等との連携による各種講座の開催や、ボランティア活動を推進するための取組を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
市民センターの図書室で活動するボランティアを対象とした選書・廃棄・効果的な展示・修理についての研修会に講師を派遣	市民・ 榴岡
せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループ「まほうの手」による手話を使ったおはなし会を開催	市民
生涯学習課主催の「楽学プロジェクト」にて保護者向けの出前ブックトークを実施	市民
広瀬市民センターが主催する各種講座の開催に合わせ、講座会場内での資料展示やミニブックリストを配布 <b>拡充</b>	広瀬
吉野作造記念館・広瀬文化センター・広瀬市民センターとの連携事業「ケロッキーブーと吉野作造」展を開催し、吉野作造記念館発行の絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』の原画レプリカや関連書籍の展示、人形劇、講演会を実施 <b>新規</b>	広瀬
生涯学習支援センターで開催される講座や研修等で、資料展示や出張ブックトレードを実施 <b>新規</b>	榴岡
若林市民センターからの依頼で、読み聞かせボランティア講座を実施	若林
泉おはなしの会と共催で、講師を招き、一般向け民話講座を実施	泉
のびすく泉中央からの依頼で、子育て支援ボランティア入門講座に講師を派遣	泉

**方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために**

**施策(1) 乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会を提供します**

**【妊娠期の親への読書支援の推進】**

読書によってマタニティライフを楽しめるよう、ブックリストの発行や、親が子どものために本を手取るきっかけづくりのため、妊娠期の親を対象としたイベント等を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
みやぎ親子読書をすすめる会の協力により、絵本の読み聞かせ、わらべうた、本の紹介、参加者同士の交流を促す「マタニティおはなし会」を開催	泉
「マタニティブックリスト—新しい家族を迎えるあなたに…」の発行(再掲)	泉

**【絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくり】(重)**

各種おはなし会について、ボランティア団体等と連携しながら継続して実施し、読み聞かせの大切さを伝えた。また、乳幼児と保護者がコミュニケーションを深められるようなイベントを開催する等、乳幼児から読書に親しめるような機会を創出した。

○主な実績

- ・乳幼児向けおはなし会 実施回数・参加者数 234回・2,720人 (令和4年度 226回・2,209人)
- ・幼児向けおはなし会(幼児～小学校低学年対象)  
実施回数・参加者数 519回・5,269人(令和4年度 504回・4,189人)
- ・乳幼児及び保護者向けの事業 実施回数・参加者数 17回・227人 (令和4年度 15回・238人)
- ・読書活動推進ボランティアの延べ人数 1,181人 (令和4年度 1,027人)
- ・文庫やボランティアの活動支援のための交流会・懇談会等 実施回数 19回 (令和4年度 18回)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
にこにこ赤ちゃん・えほんのひろば	せんだいメディアテークオープンスクエアを会場として、乳幼児とその家族、妊娠中の方を対象にボランティアによるおはなし会や赤ちゃんのためのわらべうた、栄養士による栄養食事相談等	全館連携
赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた	0歳児の赤ちゃんと保護者を対象とした絵本の読み聞かせ、わらべうた、おすすめの絵本の紹介、絵本やわらべうたを介した赤ちゃんとのふれあい方のお話	全館
はじめよう！ベビーサイン	日本ベビーサイン協会認定講師によるベビーサイン体験会	広瀬
ぼけっと おはなし会、おはなしの森	子育てふれあいプラザ「のびすく」を会場として、0～1歳児親子を対象とした絵本の読み聞かせ、わらべうた等	宮城野・泉
ウェルカムひろば	乳幼児とその保護者を対象に交流の場を設け、育児相談や子育てに関する情報提供、児童書の紹介等を実施(宮城野区中央市民センター、宮城野区保健福祉センター家庭健康課、原町児童館等と共催)	宮城野
乳児向け読み聞かせボランティア養成講座	乳児向けの絵本等の読み聞かせに関心のある方を対象としたボランティア養成講座	太白・泉

**【幼稚園、保育所等での読書活動の支援】**

団体貸出や子ども読書支援パックの貸出、テーマ別リストの作成、各種講座等の開催のほか、除籍本を無償譲渡する等、保育所等での読書活動の支援を行った。

○主な実績

- ・子ども読書支援パック(67種類 183パック)の貸出数  
   保育所・幼稚園・児童館 103件(令和4年度 210件)、ボランティア団体・個人 156件(令和4年度 158件)
- ・家庭文庫・地域文庫への資料貸出 文庫登録数・貸出冊数 18団体・1,612冊(令和4年度 18団体・1,573冊)
- ・除籍本有効活用無償譲渡会(市内保育所・保育園) 提供数 19施設・752冊(令和4年度 17施設・1,730冊)

○各館の主な事業

事業内容	実施館
保育施設の子どもの見学を受け入れ、おはなし会等を実施	広瀬
幼稚園における保護者向け講演会	太白

**施策(2) 障害のある子どものニーズに応じたサービスを提供します**

**【障害のある子どもが利用しやすい資料の拡充、読書環境の整備】**

障害のある子どもをサポートするため、各館に拡大読書器等を設置するとともに、触る絵本や点字付き絵本等の収集・貸出を継続して行った。また、電子図書館では音声読み上げ機能の付いた電子書籍を提供する等、障害のある子どもが利用しやすい読書環境の整備に努めた。

○主な取組

- ・子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ、各館で触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集を行った。また、触る絵本等の所蔵リストを各館で配布するとともに、ホームページ等での公開を継続して行った。
- ・マルチメディアデジ資料の貸出を継続して行った。
- ・せんだい電子図書館に音声読み上げ機能の付いたコンテンツを用意し、トップページに専用バナー「うごくえほん」を設け、利用しやすいよう配慮した。

**【関係機関との連携によるニーズに応じた取組の推進】**

特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。また、特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際に配布する等、広報に努めた。さらに、手話を使ったおはなし会等、障害のある子どもが参加しやすいイベントを実施した。

○主な実績

- ・特別支援学校・学級専用資料の貸出  
   貸出回数、貸出冊・点数 85回、3,775冊・点(令和4年度 57回、2,174冊・点)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
手ではなすおはなしの会(再掲)	せんだいメディアテークとの共催で、ボランティアグループ「まほうの手」による手話を使ったおはなし会	市民
手話でおはなし会	手話の説明や絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を音声と手話で同時に実施	宮城野
市民講座	北部発達相談支援センター職員による講話「発達が気になる子どもへの対応について～学齢期を中心に～」、関連図書の展示等	宮城野

### 施策(3) ヤングアダルト世代の読書活動、学習活動を支援します

#### 【中高生の主体的な読書活動のサポート】

図書館サポーター等中高生が主体的に活動できる機会づくりに努め、中高生によるおすすめ本のリスト作成や選書支援等を継続して実施した。また、高校図書館研究部会で教職員や学校司書への話題提供や情報交換を行う等、学校図書館の現状やヤングアダルト(YA)世代のニーズの把握に努めるとともに、学校との連携強化を図った。

#### ○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
みんなのおススメの本を教えてください	図書館に投稿された、中高生のおススメの本の紹介文をホームページや展示で活用(投稿数 190 件)	全館
選書アドバイザー会議	中高生が YA 向け図書の選書支援や 10 代向けブックリストの作成を通じて、図書館作りに参加	広瀬
YA コーナー選書支援アンケート	選書アドバイザー会議での選書支援の参考とするために、中・高校生、保護者を対象とした読書ニーズの把握のためのアンケート調査	広瀬
ひろせしやべぐる BOOKS	年 3 回実施の読書会のうち 10 代を対象とした回で、参加者同士のおすすめ本の紹介、ブックカバーの作成等	広瀬
中学校・高校との連携展示	中・高校生が作成したおすすめの本の POP や紹介文を YA コーナーに展示	広瀬・宮城野・若林・太白・泉
図書館 Jr. サポーター <b>新規</b>	活動したいときに参加できて図書館業務全般を体験できるボランティア活動	榴岡
伝わる！文章力トレーニング講座	河北新報の記者を招いた、新聞の読み方から、伝わりやすい文章の書き方についてのワークショップ	榴岡
図書館 YA サポーター・としよ部 <b>新規</b>	YA 通信に掲載する本の選書・紹介文の作成、福袋の作成、本の修理、返却本の配架作業	若林
なるには講座「雑誌編集者ってどんな仕事？」 <b>新規</b>	YA 世代向けに、雑誌編集者を招いた講話、ワークショップ	若林
ビブリオバトル観戦イベント <b>新規</b>	図書館職員と kuruto ながまちの大学生ボランティアによるビブリオバトルの試演、中高生の投票体験、参加者同士の交流	太白
Kuruto ながまちビブリオバトル	放課後施設 kuruto ながまち主催、中高生バトラーによるビブリオバトルと参加者同士の交流、YA コーナーにてイベントの様子やチャンプ本を紹介・展示	太白
泉図書館 YA 図書委員会	図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「BOOK LIST2023」の作成・本の展示、ビブリオバトル参加、イベントスタッフ体験等(全4回)	泉
やってみよう！ビブリオバトル 2023	のびすく泉中央と共催で、中高校生を対象としたビブリオバトルを実施	泉
出前授業	南光台東中学校 1 年生を対象に、総合的な学習の時間で「POPを作っておすすめの本を紹介しよう」の授業を実施	泉

#### 【SNS 等を活用した広報の推進】

図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」や X(旧 Twitter)に、ヤングアダルト向けイベント情報や司書及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載する等、情報発信を継続的に行った。また、「10 代のためのこころのサプリ」「『いじめ・命』に向き合う本のリスト」をホームページに掲載するとともに、市立中学校・高校にデータ配信した。

#### ○新 1 年生への利用案内配布実績

- ・中学校 1 年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」  
配布校数・枚数 83 校・9,876 枚 (令和 4 年度 83 校・9,873 枚)
- ・高等学校 1 年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」  
配布校数・枚数 47 校・11,693 枚 (令和 4 年度 47 校・11,864 枚)

**【YA コーナー、YA 向けコンテンツの充実】**

各館にヤングアダルト(YA)コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。また、電子図書館の YA 向け電子書籍の充実を図るとともに、トップページに「ヤングアダルト YA 文庫」バナーを設け、利用促進に努めた。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
本の福袋、おみくじ BOOK、(再掲)	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋(パッケージ)にして貸出やタイトル・著者名がわからないように展示して貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
展示コーナーの設置	「10代のためのこころのサプリ」掲載本の展示コーナーや中高生の勉強や進路選択に役立つ本を集めた「学習応援ノ棚」を設置し、「学習応援本」のリストを配布	市民・宮城野・泉
	ヤングアダルト向け新着・テーマ別図書案内のテーマに沿った図書の展示	広瀬・若林・泉

**施策(4) 学校との連携を推進し、子どもの読書環境、学習環境の向上を支援します**

**【オンラインを活用した学校連携】**

個人の利用者カードを持っていない児童・生徒でも、タブレット端末を使用して、朝読書等の活動で電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与するとともに、教職員を対象に利用研修会を開催した。また、教職員向けの「利用の手引き」を作成し、学校向けグループウェアで周知を図った。

○主な実績

- ・特別利用 ID の送付先 市立小学校・中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校
- ・電子図書館利用研修会 実施校数 小学校 7 校、中学校 1 校 参加者数 150 人  
(令和 4 年度 小学校 11 校、中学校 1 校 参加者数 214 人)

**【学校と連携した継続的な読書活動や調べ学習のサポート】**

公共図書館利用学習への支援や小中学生の職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施した。また、学校貸出サービスを引き続き行い、子どもの学年に応じた利用しやすい形で資料の提供を行うとともに、多種多様な本に触れられる機会の充実に努めた。

○主な実績

- ・小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」と来館した児童へ「ようこそシール」の配布  
「としょかんへいこう！」 配布校数・配布枚数 133 校・9,055 枚 (令和 4 年度 132 校・9,815 枚)  
「ようこそシール」 配布枚数 445 枚 (令和 4 年度 496 枚)
- ・小学校1年生向け「りようしゃカードひきかえけん」の配布  
配布校数・配布枚数 133 校・9,055 枚 (令和 4 年度 132 校・9,815 枚)  
利用者カード発行数 526 枚 (令和 4 年度 579 枚)
- ・学校貸出サービス 延べ貸出回数 637 回 (令和 4 年度 613 回)  
<内訳>
  - パッケージ貸出:延べ貸出回数 130 回 (令和 4 年度 131 回)
  - 授業用図書貸出、ブックトーク貸出、高等学校向け学校貸出:  
貸出回数・貸出冊数 422 回・18,188 冊 (令和 4 年度 425 回・18,318 冊)
  - 特別支援学校、学級専用貸出:  
貸出回数、貸出冊・点数 85 回、3,775 冊・点(令和 4 年度 57 回、2,174 冊・点)(再掲)
- ・公共図書館利用学習(図書館見学、調べ学習)受入校 延べ 72 校 (令和 4 年度 延べ 86 校)
- ・小中学生の職場見学・体験学習等受入校(不登校児童の適応指導教室含む) 延べ 42 校(令和 4 年度 延べ 29 校)
- ・図書館職員による小中学校へのブックトーク利用校 127 校 (令和 4 年度 126 校)

- ・ボランティアによる小中学校、児童館へのブックトーク利用校 24校(団体)・56回 (令和4年度 20校(団体)・44回)
- ・除籍本有効活用無償譲渡会(小学校)提供数 19校・2,963冊 (令和4年度 20校・1,533冊)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
出前授業 (再掲)	中学校に出向きPOP作成の出前授業を実施	泉
移動図書館学習会	小学校に出向き、移動図書館を学ぶ学習会を実施	移動

**施策(5) 家庭・地域等と連携し、子どもの創造性を育む読書活動を支える環境づくりを進めます**

**【地域の子育て関連施設等と連携し、家族がともに学び、ふれあう機会づくり】**

子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会の実施や、児童館等主催の子ども読書事業へ図書館職員を派遣する等、地域の子育て関連施設等と連携し、様々な機会を通じた家庭での読書習慣のきっかけづくりを行った。

○主な実績

- ・子育てふれあいプラザ「のびすく」と連携したおはなし会  
実施回数・参加者数 25回・594人 (令和4年度 23回・500人) (再掲)
- ・児童館等主催子ども読書活動事業への図書館職員派遣 派遣件数 16件 (令和4年度 17件)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
おしゃべり人形大集合！-腹話術で福笑い-	スマイリー・チバ氏による腹話術と職員による絵本の読み聞かせ	市民
出張おはなし会、出前おはなし会	のびすくや児童館、市民センター等での絵本の読み聞かせ、紙芝居、わらべうた等	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
ほしぞらおはなし会	仙台市天文台主催の「天文台まつり」にて移動式プラネタリウムで星空を演出した会場でのおはなし会	広瀬
宮城地区まつり「おはなしのへや」	宮城地区まつりに参加し、おはなし会を実施	広瀬
防災おはなし会 <b>新規</b>	宮城野消防署の職員による防災についてのおはなし会	宮城野
ハロウィンパレードへの協力	原町児童館 (のびすく 宮城野) のハロウィンパレードの立ち寄り場所として協力	宮城野
ヤギさんおはなしかい	月1回行われる新寺こみち市会場での出前おはなし会	若林
子育て支援イベント「親子で遊ぼう」での移動図書館車両展示 <b>新規</b>	八乙女地区社会福祉協議会・八乙女児童館・黒松児童館主催のイベントに協力し、移動図書館車両を展示	移動

**【子どもが本に親しみ、継続的な読書活動につなげるための取組】**

図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会とするとともに、家庭・地域への情報提供等を行った。また、自書式読書通帳の配布を継続して行うとともに、職員が学校に訪問する際にも持参して配布する等、子どもが継続して読書に親しめるような取組を行った。

○主な実績

- ・春・秋の子ども読書フェスティバル  
「読書の木花いっぱいになぁ〜れ」 参加人数 8,376人 (令和4年度 9,071人)  
「ラッキーブックをさがそう！」 参加人数 11,857人 (令和4年度 11,216人)
- ・児童文学者講演会 「児童文学作家 村上しいこ氏講演会『本は心のかけはし』」 参加人数 114人

(令和4年度児童文学者講演会「絵本作家 とよたかずひこさん講演会」 参加人数 105人)

・読書通帳配布と1冊終了ごとに認定シールの貼付

読書通帳配布数 15,409枚(令和4年度 4,478枚)、認定シール配布数 860枚(令和4年度 1,046枚)

・読み聞かせやストーリーテリング等、子ども読書に関する研修・講座

実施件数・参加者数 6件・265人(令和4年度 7件・232人)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
特別おはなし会、スペシャルおはなし会、かくだいおはなし会等	季節やテーマを設けた特別なおはなし会を開催 「夜のこわ〜いおはなし会」「えいごによるおはなし会」「えいごで遊ぼう!おはなし会」「えいご de おはなし会」「紙芝居おはなし会」等	全館
35年以上読み継がれた絵本リストの作成(拡)(再掲)	2009年に作成したロングセラーの絵本リスト「25年以上読み継がれた絵本たち」の更新を行い、新たに「35年以上読み継がれた絵本たち」を作成し、館内配置及びホームページに掲載	全館
本の福袋(再掲)	年代別に図書館員が選んだ資料を福袋(パッケージ)にして貸出	市民・広瀬・宮城野・榴岡・若林・泉
河北新報社への原稿提供	定期的に河北新報(夕刊)「出かけよう本の旅へ」にテーマ別のおすすめ本を紹介	市民・泉
おはなし会リレー(広瀬図書館まつり)	「みんな いっしょに」をテーマとしたボランティア団体と職員によるリレー形式のおはなし会	広瀬
子ども天文教室	「秋の星空と惑星のおはなし」をテーマにした子ども向け天文教室(連携:仙台市天文台)	広瀬
ぬいぐるみおとまり会	子ども達からぬいぐるみを預かり、館内を探検している様子を撮影し、ぬいぐるみが選んでくれた本を貸出	宮城野・若林

【子どもの心を育み、居場所となる取組】

夏休み等の長期休暇を利用した体験型イベントの開催や、子供図書室を核とした事業等、子どもの読書活動を支える取組を行った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
小学生図書館探検、体験!図書館員になろう!、図書館司書講座 <b>新規</b> 、夏休み小学生一日図書館員	小学生を対象としたブックポスト、書庫等図書館の裏側見学、お仕事体験、バックヤードツアー等	市民・広瀬・若林・太白
夏のわくわく映画館	「なかまといっしょ」をテーマとして映画上映、読み聞かせ(主催:生涯学習課、協力:仙台視聴覚同好会)	市民
DVD上映会、お楽しみ映画会、子ども映画上映会等	子ども向け映画の上映会	広瀬・宮城野・若林・太白・泉
ひろせ読書スタンプラリー	本の貸出時に1日1個のスタンプがもらえるスタンプカードを配布し、スタンプを6個集めた参加者に記念品を進呈	広瀬
なぞときチャレンジ-暗号をといてさがしてね-	暗号を解いて答えの本に隠されている「謎解き証」を見つけることで、同時に図書館内の設備や図書コーナー等を知ることができる企画	宮城野
おうちでこうさくきょうしつ	子どもたちに自宅で作れる工作キットを配付し、家で作って図書館に持ってきてくれた作品を児童書コーナーに展示	宮城野
夏休み子ども工作教室、夏休み小学生工作教室	図書館で出る廃材を使った「ヒンメリ」の制作、ペットボトルを使った「空気砲ストラックアウト」の制作	榴岡・太白

事業名	内容	実施館
夏休み読書スタンプラリー	本の貸出時に1日1回くじを引き、出た数だけスタンプをもらい、ゴールした参加者にプレゼントを進呈、子どもたちのおすすめの本をコーナーに展示	榴岡
夏休み宿題お助け隊	小学生を対象に、夏休みの自由研究や読書感想文等、調べ学習の支援、図書館資料による学習方法の提案	若林
小学生のための防災エンスショー	のびすく泉中央と共催で、防災に関するサイエンスショー	泉
子どものための楽しい落語会	東北大学落語研究会による子ども向けの落語会	泉
天の川を作ろう	本を借りた子どもたちに折り紙で作った星を渡し、ボードに貼り付け星で天の川を作成	泉

**方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために**

**施策(1) どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に取り組みます**

**【事業者や市民団体等との連携による図書館サービス】(重)**

市民センターの図書ボランティア養成を対象とした講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。また、予約資料の受け取りや返却ができる窓口として中田市民センター内のサービススポットの運営を継続しつつ、図書館サービスのさらなる拡充を図るため、令和5年6月に地下鉄東西線荒井駅の「せんだい 3.11 メモリアル交流館」内に荒井サービススポットを開設した。

○主な実績

- ・中田サービススポット 開設日数・延利用者数 137日・4,280人 (令和4年度 120日・3,193人)
- ・荒井サービススポット 開設日数・延利用者数 121日・4,748人 **拡充**
- ・除籍本有効活用図書無償譲渡会(一般書:市民センター等) 提供数 4カ所・788冊 (令和4年度 2カ所・231冊)

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
市民センター講座への講師派遣(再掲)	市民センターの図書室で活動するボランティアを対象とした選書・廃棄・効果的な展示・修理についての研修に講師を派遣	市民・榴岡

**【移動図書館の安定的なサービス】(重)**

移動図書館車「ひろせ号」に続き、老朽化していた「わかくさ号」を更新し、安定的なサービスを提供できるよう駐車場所の見直しを行った。地域のイベント等に特設巡回し、多くの市民に移動図書館を知ってもらい、利用を体験してもらう機会を設けた。また、車両展示と併せてベンチを設置することで、図書に親しめる空間づくりに取り組んだ。

○主な実績

- ・移動図書館(77カ所) 巡回日数・延利用者数 225日・26,792人 (令和4年度 76カ所・225日・28,111人)

○主な事業

事業内容	連携先
SENDAI SDGs Week 2023、みんなで子育てフェスタ、みやぎの・まつり、仙台PTAフェスティバルへの特設巡回を実施し、車両展示やベンチ設置による読書空間づくり <b>拡充</b>	仙台青年会議所、こども若者局総務課、みやぎの区民協議会、仙台市PTA協議会
異世代交流居場所づくりイベント「秋保カフェ」での移動図書館車両展示 <b>新規</b>	秋保地区社会福祉協議会
読書愛好者による読書会「お茶っこサロン」での移動図書館車両展示 <b>新規</b>	実沢コミュニティ・センター
高齢者生きがいづくりイベント「沖野耕友大学」での移動図書館車両展示 <b>新規</b>	沖野市民センター
子育て支援イベント「親子で遊ぼう」での移動図書館車両展示 <b>新規</b> (再掲)	八乙女地区社会協議会、八乙女児童館、黒松児童館
異世代交流居場所づくりイベント「秋保カフェ」での移動図書館車両展示 <b>新規</b>	秋保地区社会福祉協議会

**【電子図書館等オンラインサービスの推進】(重)**

せんだい電子図書館について、震災関連資料や地域の特色を活かしたコンテンツを用意するとともに、関連資料を探しやすくするレイアウト変更等の工夫をしている。電子図書館サービスの新たなコンテンツとして、各課公所で作成した冊子やパンフレット等の行政資料を電子書籍化し、ログイン不要の閲覧用コンテンツを新たに設けた。また、令和5年2月からは電子雑誌閲覧サービスを開始し継続的に運用する等、サービスの向上に努めた。

学校での朝読書の活動等で電子図書館を利用できるよう、各学校専用の特別利用IDを付与し、教職員を対象に利用研修会を実施した。

○せんだい電子図書館の主な実績

	令和4年度	令和5年度
コンテンツ数(点)	4,358	4,008
ログイン数(点)	137,089	113,213
貸出数(点)	37,809	30,131
予約数(点)	11,289	7,695

- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 156点・115点（令和4年度末 143点・112点）  
行政資料 34点 **拡充**（再掲）
- ・TRC-DL マガジン 電子雑誌閲覧サービス ログイン数 7,277回、タイトル数 198タイトル
- ・特別利用IDによるログイン数 16,563回、貸出数 6,270点、閲覧数 31,365点
- ・教職員向け利用研修会の実施 小学校7校、中学校1校（再掲）

**施策(2) あらゆる人に使いやすい図書館サービスを推進します**

**【超高齢社会に即した図書館サービスの推進】**

本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、全館で資料の充実を図った。また、高齢者の関心が高い分野をテーマとした資料展示やブックリストを配布する等、情報の提供を行うとともに、来館のきっかけとなるような講座を開催した。

○主な実績

- ・大活字本受入数 302冊（令和4年度 346冊）
- ・大活字本蔵書数 9,800冊（令和4年度末 9,537冊）

○各館の主な事業

事業内容	実施館
シニア世代向けの図書を集めたコーナーを常設	市民・若林・泉
東北大学病院広報室からの依頼により、広報誌「hesso(へっそ)」に おすすめ本の紹介	市民
福岡地域包括支援センターと連携した「エンディングノートの作り方」「将来を考える～終活ワンポイントアドバイス」講座	福岡
シニア生活応援講座「これだけは知っておきたい終活のポイント」を実施	若林
若林区文化センターと連携し、「デイサービスセンター作品展」連動企画事業において関連資料の展示	若林
新着「大活字本所蔵リスト」作成・配布（再掲）	泉
高齢者向け新着図書案内「シニアライフの充実は“図書館”から」の継続発行（再掲）	泉

**【図書館を利用しにくい方々へのサービスの強化】**

全館に拡大読書器、筆談ボード、耳マーク等を設置する等、障害のある方へ配慮するとともに、視覚に障害のある方へのデジ資料(録音図書)の貸出や、電子図書館では音声読み上げ機能付きの電子書籍を多く用意する等、読みづらさの解消へ配慮した。また、心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を継続して実施したほか、視覚障害のある方へ朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。

○主な実績

- ・郵送貸出サービス 延利用者数、貸出数 4,485人、10,418冊・点（令和4年度 4,060人、9,816冊・点）
- ・朗読ボランティア「仙台音訳の会」による対面朗読サービス 利用件数 126回（令和4年度 145回）
- ・ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作への支援(宮城野) 拡大写本 1タイトル 4分冊完成
- ・デジ資料(録音図書)の作成(宮城野) 225点 累計 2,766点（令和4年度 208点 累計 2,541点）

**【国際化社会に対応したサービスの充実】**

仙台市に在住している外国人は増加しており、言語の違いにかかわらず図書館の利用を楽しめるように、外国語の本や絵本、児童洋書等の資料の充実を図った。

○主な実績

- ・外国語資料(一般洋書)受入数 126 冊 (令和 4 年度 13 冊)
- ・外国語資料(一般洋書)蔵書数 4,957 冊 (令和 4 年度末 4,804 冊)
- ・外国語絵本、児童洋書受入数 95 冊 (令和 4 年度 143 冊)
- ・外国語絵本、児童洋書蔵書数 8,037 冊 (令和 4 年度末 8,187 冊)

○各館の主な事業

事業内容	実施館
外国人向け図書館利用案内(英語・中国語・韓国語)を配布	全館
電子図書館の外国語資料あんないを作成・配布 <b>新規</b> (再掲)	市民
「えいごによるおはなし会」「えいご de おはなし会」「えいごで遊ぼう! おはなし会」を開催(再掲)	市民・広瀬・榴岡
図書館職員と多読カフェ研究会による日本語、英語、韓国語でのおはなし会を開催	若林
カウンターの案内表示(返却・貸出・登録等)に英語を併記 <b>新規</b>	泉

**施策(3)ICT 環境の進展等社会環境の変化を踏まえたサービスを提供します**

**【電子媒体を活用した発信の強化／利用者のITリテラシーに合わせたサポートの強化】 **重****

オンラインおはなし会の開催や、X(旧 Twitter)を活用したイベント等の情報発信をこまめに行う等、電子媒体を活用した発信の強化に努めた。また、初心者向けに電子図書館の使い方講座を開催したほか、YouTube で利用方法を配信する等、電子図書館の利用促進に向けた取組を行った。

○各館の主な事業

事業内容	実施館
仙台市公式動画(YouTube)チャンネル「せんだい Tube」にて、「せんだい電子図書館のご利用案内」を 3 回に分けて配信(PART1 ログイン・貸出・返却編、PART2 資料検索編、PART3 予約編)	市民
仙台市公式動画(YouTube)チャンネル「せんだい Tube」にて、「ライブラリーアフターアワーズ光のページェント音楽会」の動画を配信 <b>新規</b>	市民
せんだい電子閲覧サービスアクセス用の二次元コードを作成し、雑誌コーナーに配置 <b>新規</b>	市民
「今月の電子雑誌リスト」として、せんだい電子閲覧サービスで閲覧可能なリストを作成し、電子図書館サイト、図書館ホームページ、X(旧 Twitter)を利用した情報発信 <b>新規</b>	市民
「仙台防災未来フォーラム 2024」でせんだい電子図書館の体験を実施(再掲)	市民
初心者向けに、電子図書館の紹介・体験会を開催	若林
おうちで楽しむオンラインおはなし会を開催(再掲)	若林

**方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために**

**施策(1)市民の財産としての資料を計画的に収集・保存し、活用します**

**【計画的な資料の収集・保存・活用】**

仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。また、除籍本を無償で小学校や保育施設、市民センター等に提供する等、資料の有効活用を図った。

○各館の分担収集分野

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○除籍本有効活用図書提供（再掲）

- ・児童書：小学校・保育所等 38カ所・3,715冊（令和4年度 37カ所・3,263冊）
- ・一般書：市民センター等 4カ所・788冊（令和4年度 2カ所・231冊）

**【電子図書館の特色あるコンテンツづくり】**

仙台にゆかりのある作家の作品や東日本大震災関連本等、地域に根ざした資料の選定を行い、せんだい電子図書館のトップページに「3.11 震災文庫」「仙台郷土資料」等のバナーを設け、関連資料を探しやすくする工夫する等、仙台らしさを意識した特色あるコンテンツづくりに努めた。また、各課公所で作成した行政資料冊子やパンフレットを電子書籍として登録し、閲覧に供した。

○主な実績

- ・電子図書館コンテンツ数 郷土資料・震災資料 156点・115点（令和4年度末 143点・112点）  
行政資料 34点 **拡充**（再掲）

**施策(2)めざす図書館像を市民と共有し、ともに図書館づくりを進めます**

**【市民協働事業や広報の促進】**

利用者自らがおすすめ本を紹介したり、イベントに参画したりする等、市民参加型事業を行った。また、地元企業や市民団体等と連携し、図書館と地域の賑わいづくりに資する事業を行った。

X(旧 Twitter)を利用して、イベントの案内だけでなく開催後の報告を行う等、広報の推進を図った。

○各館の主な事業

事業名	内容	実施館
ひろせしゃべぐる BOOKS	独自のテーマやテーマ本を設定する読書会を開催し、「広瀬図書館まつり」において、読書会参加者が選書した資料の展示企画「読書会の本棚」を実施	広瀬
おすすめの本	子どもたちのおすすめ本を募り、「おすすめの本」として子どもたちが書いた紹介文やイラスト等を資料と合わせて展示	宮城野
推し本！（再掲）	利用者におすすめ本のアンケートを行い、展示およびブックリストの作成・配布	榴岡
ほんのトーク（再掲）	月に一回、閉館後の図書館に集まり、テーマに沿って本について気軽にしゃべりするトークイベントを開催し、開催後のレポートをX(旧 Twitter)で発信	太白
ベガルタ仙台との連携による図書館等の賑わいづくり <b>新規</b>	ベガルタ仙台の試合時に図書館敷地を開放し、キッチンカー出店を試験的に実施	泉

事業名	内容	実施館
地元団体 WTW 仙台への協力による図書館等の賑わいづくり <sup>新規</sup>	WTW 仙台が主催するドローンレース大会関連イベント(スタンプラリー)のスタンプ台を館内に設置し、併せて、ドローンのデモフライトや関連図書を展示	泉

**【地域人材の育成と活躍の場の提供、市民参加の促進】**

ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取組を行った。また、各種ボランティアの養成講座を開催する等、市民の学びをサポートする人材の育成を行った。

○ボランティアや市民による主な活動（再掲あり）

内容	実施館
子ども向け各種おはなし会、イベント	全館
小学校、児童館へのブックトーク	市民
図書資料の修理、配架作業等	市民(配架のみ)・広瀬(修理のみ)・宮城野・若林・太白(配架のみ)・泉
ボランティア懇談会や定例会の開催	市民・広瀬・宮城野・若林・太白・泉
大人向けおはなし会、イベント	市民・榴岡・泉
対面朗読	宮城野・若林・太白・泉
拡大写本制作	宮城野

○各種ボランティア養成講座等の実施

事業名	内容
ブックトークボランティア基礎講座(全6回)	ブックトークに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講話・実演・演習等)
読み聞かせボランティア基礎講座(全3回×2会場)	読み聞かせ講座を受けたことのない方を対象としたボランティア養成講座(講義)
乳児向け読み聞かせボランティア養成講座(全2回×2会場)(再掲)	読み聞かせの活動をしていて乳児向けの絵本等の読み聞かせに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講話・講義・実技)
ストーリーテリング講座(全3回)	ストーリーテリングに興味のある方を対象としたボランティア養成講座(講義・実習・実演)
読み聞かせボランティアステップアップ講座(全4回)	小学校や児童館等で読み聞かせの活動をしている方を対象としたボランティアステップアップ講座(講義・実習等)
対面朗読ボランティアスキルアップ講座(全2回)	音訳ボランティアを対象としたスキルアップ講座(テーマ:聞き手に寄り添う音訳)
手袋人形・パネルシアター講座(全1回×2会場)	小学校や児童館等で読み聞かせの活動をしている方を対象としたおはなし会にも役立つ手袋人形・パネルシアターの使い方や演じ方の講座

**施策(3) 図書館資源を適正に配分・管理し、最大限に活用します**

**【安定的なサービス提供のための課題解決】(重)**

公共図書館として安定的なサービスを提供するため、仙台市図書館協議会において、今後の図書館のあり方について、意見交換を行い、検討を重ねた。また、令和6年7月から若林図書館の大規模修繕工事が始まることから、工事期間中における安定した若林図書館の市民サービスの継続について、関係機関との調整を行った。

○主な実績

- ・図書館協議会 開催回数4回(令和5年5月、8月、11月、令和6年1月)
- ・10月～11月にかけて、仙台市図書館協議会委員による各図書館の視察を実施(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白、泉)

### 【来館型・非来館型サービスの適正な運用】

図書館に来館しなくても、インターネットを通じて、いつでもどこでも電子書籍を借りて読むことができる「せんだい電子図書館」を運営し、令和5年2月からは電子雑誌閲覧サービスを開始する等、非来館型サービスの充実を図った。

#### ○主な実績

- ・TRC-DL マガジン 電子雑誌閲覧サービス ログイン数 7,277 回、タイトル数 198 タイトル(再掲)

### 【費用対効果を踏まえたサービスのあり方の検討、財源創出の手法の研究】

広告料収入を資料費に充てるため、雑誌スポンサー事業を継続して実施した。また、図書館資源を適正に配分するため、指定管理者制度の活用のあり方について、図書館協議会で意見交換を行い、検討を重ねた。

#### ○主な実績

- ・雑誌スポンサー広告事業(広瀬・若林・泉) 参加企業 3社(令和4年度 4社)

## 施策(4)図書館サービスの評価・分析を行いながら図書館経営を行います

### 【数値的成果指標の図書館サービス向上への活用】

仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について、点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見をを受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。また、指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を継続して実施し、ホームページ上で公表した。

### 【市民による評価や意見の活用】

市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館運営を行うため、利用者へのアンケートや利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。また、利用者の意見を聞く機会として、全館に意見箱を常設し、意見と回答の掲示を行うとともに、可能な改善を行った。

#### ○主な取組

- ・窓口サービスアンケート(市民・宮城野・太白・泉)、利用者アンケート(広瀬・榴岡・若林)の実施
- ・ご意見箱の設置(全館)
- ・利用者懇談会の実施(市民、広瀬、宮城野、榴岡、若林、泉)

## 施策(5)図書館職員に求められる資質と専門性の向上に努めます

### 【社会環境や課題の変化を踏まえた職員の資質と専門性の向上／職員間の知識や技術・経験の伝承／マネジメント能力を高め、市民の活動の場を支える職員の育成】

国立国会図書館等の専門機関、関連機関等が実施する研修に参加したほか、全館職員を対象とした市民図書館主催の集合研修や、各館及び指定管理者主催の職員研修を実施する等、職員の資質と専門性の向上を図り、市民の活動の場を支える職員の育成を行った。

#### ○主な研修実績

- ・国立国会図書館主催 研修会(市民・宮城野・泉)
- ・国立国会図書館国際子ども図書館主催 児童文学連続講座(宮城野)
- ・公益社団法人日本図書館協会公共図書館部会主催 全国公共図書館研究集会(宮城野)
- ・宮城県図書館協会主催 公共図書館等職員研修会(全館)
- ・文部科学省主催 新任図書館長研修(泉)
- ・文化庁主催 都道府県著作権事務担当者講習会(若林)
- ・文部科学省 宮城県教育委員会主催 図書館地区別(北日本)研修(市民)

- ・未来の図書館研究所主催 シンポジウム（市民・若林）
- ・日本図書館協会主催 全国図書館大会岩手大会（市民） ※市民図書館からは講師として職員を派遣
- ・公益財団法人伊藤忠記念財団主催 特別研修「読書バリアフリーをすすめるために」（太白）
- ・公益財団法人伊藤忠記念財団主催 「読書バリアフリー研究会」（市民・太白）
- ・日本図書館協会主催 「図書館員・音訳者のための著作権セミナー」（太白）
- ・国立国会図書館主催 「レファレンス協同データベース事業フォーラム」（広瀬）
- ・読書バリアフリーコンソーシアム・テクノロジーハブ主催 「ICT を使って読書の可能性を広げるシンポジウム」（広瀬）
- ・(公財)仙台市健康福祉事業団介護研修室主催 介護講座「認知症を知る」（広瀬）
- ・図書館総合展運営委員会主催 「図書館総合展」（市民・広瀬）
- ・生涯学習支援センター主催 社会教育施設職員向け研修（市民・広瀬・榴岡・若林・泉）
- ・市民図書館主催 全館向け研修 「新任職員、ブックトーク、図書館史、リーダー研修、図書館地域活性化、認知症サポーター養成、図書館運営基本研修」（全館）
- ・各図書館主催 館内研修 「接遇、システム障害時対応、危機管理、著作権、レファレンス、個人情報保護 等」

◇◆◇方向性ごとの今後の課題◆◆◇

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館になるために

**【課題解決に取り組む市民の学びのサポート】**

- ・関係機関と連携した事業や、イベントに合わせた資料展示などにより、様々な情報や地域の魅力を発信することで、あらゆる世代が多様な本と出会い読書を通じて交流する場を提供し、市民の学びを支援する。

**【地域の歴史や魅力の継承・発信と未来の地域づくりへの貢献】**

- ・関係機関等と連携したイベントを開催し、地域の歴史や魅力を広く発信する。

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

**【乳幼児から読書に親しみ、豊かな感性を育む機会の提供】**

- ・妊娠期や乳幼児の親を対象としたイベントやおはなし会などにより、子どものために本を手にする機会をつくり、絵本を通じた乳幼児と保護者のふれあいの機会づくりを推進する。
- ・乳幼児向けの読み聞かせボランティアの育成を推進し、活動の場を提供する。

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

**【どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備】**

- ・移動図書館「わかき号」を活用したアウトリーチ型事業の実施など、年齢や障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすい図書館サービスを推進する。

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

**【図書館職員に求められる資質と専門性の向上】**

- ・公共図書館としての質を確保しながら、社会環境の変化や課題、様々な世代の利用者のニーズに対応するため、研修等により職員の資質と専門性の向上を図る。
- ・施設の改修等に適切に対応し、図書館サービスの継承と発展を図る。